

皆様初めまして。2019ミス日本みどりの女神の藤本麗華です。

私は東京の中でも自然が多い羽村市で育ちました。

私は2016年まで宝塚歌劇団の男役として日本全国や海外において舞台公演の毎日でした。そこで培ってきた体力と表現力を今後は森林・林業の舞台で活かしていきたいらと考えております。今までは稽古漬けだったため室内にいたことが多く、自然に触れる機会はあまりありませんでした。これから実際に現場へ行き、森林や林業について初心者ならではの観点で感じることもあるかもしれません。自然体のままで、若い世代に発信していくことが同世代にも知って頂けるチャンスを広げると思います。

これから、素晴らしい経験をさせて頂き学ばせて頂ける環境に感謝をし、一年間精一杯務めさせて頂きます。宜しくお願い致します！

初めてのお仕事 モクコレ

初めてのお仕事は、東京ビッグサイトで開催されたモクコレ2019でした。

開会式セレモニーでは、テープカットではなく、ウッドカット！実物の丸太にカットを入れるなんてとても新鮮で素敵な思い出になりました。

会場には日本各地の地域材を活かして話題性、インパクトが高い製品が展示されていて、アイデアが素晴らし



今年のみどりの女神の初仕事



モクコレオープニングではウッドカットセレモニーに参加



林野庁長官と一緒に視察学習



生活が楽しくなるような木の家具に興味を惹かれました。



子供がよろこぶような遊び場



石川県のマスコットキャラクター、
里山ウディー君



恐竜もどこか温かみを感じます

い作品が沢山ありました。私が印象に残ったのは「学生向けの木育」です。学生は長い時間、長い期間、ずっと学校にいますので、そんな学生のために木の香り、素材そのものが癒しを与えるリラックスした空間での学習は素晴らしいと思います。管理も簡単なところが檜の魅力とも伺いました。初めてのことでなければ、終始感動でした。

住まいの大博覧

住まいの大博覧では、WOODデザイン賞2018の受賞作に関するステージ司会をさせて頂きました。

司会は初めてで大変緊張しましたが、それ以上に発表者の皆さまのお話から気がつく発見や感動が大きかったです。どの作品もアイデア・工夫・情熱があり製作者の方のお話を聞くと、よりその作品のストーリーもわかり聞いている側も一度自分の目で見に行きたくなる…そんな気持ちにさせて頂きました。

最優秀賞の江東区有明西小学校は、子供達がまさにのびのび育つ環境に最適だと感じました。木の魅力が沢山詰まっているのが写真からも伝わってきます。

他にも沢山の素晴らしい作品がありましたのでこれから足を運んでみたいとおもいます。

みどりの女神になり一ヶ月が経ちます。既に森林・林業について心を動かされたり私自身もみどりや木の魅力を沢山感じることが出来、新たな挑戦にわくわくしております。

そして、これから実際に現場へ行き多くの方と触れ合い、新たなことを学ぶことがとても楽しみです。一年間、どうぞ宜しくお願いいたします。



発表者のみなさまと記念写真



長官と一緒に各県のブースを視察学習



新しい木の利用について出展者から説明を受けました



ウッドデザイン賞トークショーの司会を務めました



新しい技術を施した木材たち。これまでとの違いを肌で感じます



耐震の工夫について説明を受けます



日本の各地域が地元自慢の材をアピール